

※世話人の交代等で記録のない部分があります。空いている部分につきましてご存知のかたはおしらせください。

医大ヶ丘研究会（旧生体分子構造機能制御講座） 研究発表会記録

研究発表会：毎年度6、10、1月の第2火曜日あるいは第2水曜日 17:30-19:00

回	年月日	曜	所属	氏名	演題
第1回	H14年 6月14日	金	1生化	濱中 良志	小胞体品質管理機構を担う新規プロテアーゼ
			1内科	加隈 哲也	糖尿病治療における脂肪毒性改善の意義—トリグリタゾンによる脂肪毒性の解除とその分子メカニズム—
第2回	H14年11月27日	水	1解剖	三浦 真弘	大腸壁内リンパ管と癌種リンパ行性転移機構に関する形態学的解析
			皮膚科	片桐 一元	ACAID (anterior chamber associated immune deviation) によるTh2反応 (喘息モデル) の抑制
第3回	H15年 3月 5日	水	2生化	松尾 哲孝	ヒトXI型コラーゲン α 1鎖遺伝子の転写調節機構の解析
			2解剖	伊奈 啓輔	糖尿病性腎症の間質の線維化—筋線維芽細胞化の関与
第4回	H15年 6月27日	金	1内科	野口 仁志	ghrelinによる摂食調整に関する研究
			皮膚科	藤原 作平	ヒト・エピプラキン遺伝子の多様性
第5回	H15年11月28日	金	1解剖	下田 浩	リンパ管の組織化学とリンパ管新生
			2生化	調 恒明	神経系底板に発現する遺伝子の機能
第6回	H16年 2月25日	水	2解剖	北村 裕和	物理現像法の基礎、応用、限界
			1内科	高橋 尚彦	Heart Shock Protein (HSP) と心筋保護
第7回	H16年 6月29日	火	2生化	住吉 秀明	XIX型コラーゲン遺伝子の発現とそのノックアウトマウス
			産婦人科	榎原 久司	生殖機構における血小板活性化因子の役割
第8回	H16年10月27日	水	1解剖	紀 瑞成	生理学的及び病理学的状態におけるリンパ管内皮細胞の特徴
			皮膚科	岡本 修	I型コラーゲンによるTGF- β 生物活性の修飾
第9回	H17年 2月 2日	水	2解剖	宮崎 貴志	ラット耳下腺遮断による、耳下腺の形態学的変化と細胞間ギャップ結合の変化
			1内科	正木 孝幸	adipocytokine leptin の摂食調節作用へのcorticotrophin releasing hormone (CRH)
第10回	H17年 6月14日	水	1生化	濱中 良志	界面活性剤を用いた小胞体糖鎖付加機構への新しいアプローチ

第10回	H17年9月17日	火	産婦人科	吉松 淳	胎盤のVEGFとVEGF receptor
第11回	H17年10月26日	水	1解剖	三浦 真弘	Whole-mount法を用いたリンパ管新生様式の形態学的解析
			皮膚科	波多野 豊	Th2 サイトカインが表皮におけるセラミド合成と皮膚バリア機能に及ぼす影響
第12回	H18年 1月24日	火	2生化	松尾 哲孝	骨組織に発現する新規コラーゲン分子（24型コラーゲン・1鎖）の機能解析
			1内科	後藤 孔郎	Glucagon-like peptide (GLP-1)の摂取抑制作用と視床下部神経ヒスタミンおよび corticotropin releasing hormone (CRH)との関連
第13回	H18年10月17日	火	1生化	酒井久美子	粗面小胞体膜における脂質とタンパク質の機能連関
			皮膚科	後藤 瑞生	エピプラキンが創傷部の表皮細胞に及ぼす影響
第14回	H19年 2月21日	水	1内科	篠原 徹二	性ホルモンおよび糖尿病が心臓分子シャペロン発現に及ぼす影響
			2解剖	宮崎 貴志	The Effect of Parotid Duct Ligation on The Changes of Intercellular Gap Junction in Rat Parotid Glands
第15回	H19年6月12日	火	1解剖	下田 浩	Angiopietin-2によるリンパ管の形態形成
			1内科	清家 正隆	ラジオ波治療がもたらした肝癌治療の進歩と問題点
第16回	H19年10月9日	火	1内科	石井 宏治	生物学的製剤によるリウマチ・膠原病の新しい治療
			産婦人科	奈須 家栄	子宮内膜症の病態解明と新しい薬物療法の開発
第17回	H20年 1月23日	水	2 生化	住吉 秀明	マウス皮膚創傷治癒過程をモデルとした組織線維化のメカニズムの解析
			皮膚科	清水 史明	同種異系複合組織移植における組織虚血時間と拒絶反応の関係
第18回	H20年10月29日	水	1内科	縄田 智子	当科における成人IgA腎症の診療について
			皮膚科	波多野 豊	アトピー性皮膚炎の病態解明と新規治療法の開発～私のアプローチ
第19回	H21年 2月 3日	火	産婦人科	河野 康志	卵胞発育および排卵における卵胞液中の生理活性物質の役割
			2 解剖	北村 裕和	ホルマリンを用いない臓器固定法と新しい組織包埋剤の開発
第20回	H21年10月 6日	火	2 生化	Wu Yun-Feng	The Sp1, Sp7/osterix and CBF/NF- κ B transcription factors cooperatively regulate the mouse pro- α 3(V) collagen gene (Col5a3) in osteoblastic cells.
			1内科	後藤 孔郎	肥満及び糖尿病における脳由来神経栄養因子（BDNF）と視床下部ヒスタミン神経との関連
第21回	H22年 3月 2日	火	産婦人科	高井 教行	婦人科癌におけるエピジェネティクスを介した新しい治療法の開発と新しい癌抑制遺伝子の発見
			皮膚科	甲斐 宜貴	大分大学皮膚科におけるセンチネルリンパ節生検のまとめ

第22回					
第23回					
第24回	H23年 2月 8日	火	皮膚科	石川 一志	エピプラキンは創傷治癒過程においてケラチン線維の側方会合を促進する
			マトリックス医学	住吉 秀明	大分大学内において遺伝子改変動物を樹立する計画について
第25回	H23年 8月 2日	火	皮膚科	島田 浩光	エピプラキン・ノックダウンにおけるHela細胞、MDCX細胞の機能変化
			産婦人科	西田 正和	胎盤形成調節における3型semaphorinの役割
第26回	H23年10月 4日	火	分子解剖	伊奈 啓輔	腎線維症の治療法の開発
			1内科	久米 治	圧負荷モデルラットにおける心房の炎症・線維化と心房細動
第27回	H24年 2月14日	火	細胞生物学	濱中 良志	細胞質の因子H8とB3が小胞体で合成される分泌タンパク質の安定化に必須である
			マトリックス医学	佐々木隆子	Fibulin-4において同定された変異の機能ならびに構造への影響
第28回					
第29回	H24年 6月19日	火	産婦人科	西田 欣広	臍帯血からみた胎児酸化ストレスについて
			分子解剖	白石 恵子	ホルマリン代替液の応用ー外科修練に向けての基礎的研究
第30回 (1)	H24年10月 9日	火	皮膚科	波多野 豊	バリア機能異常とアレルギー性炎症のクロストーク
			生体構造医学	三浦 真弘	脳脊髄液減少症における腰仙髄ー髄液漏出現象の本態とその実験的検証ー硬膜外リンパ系ICG-PDF蛍光イメージング解析を中心にして
第30回 (2)	H25年 3月 5日	火	マトリックス医学	石井 達	ファブリー病に対するシャペロン療法
			臨床検査医学	手嶋 泰之	心筋サバイバルにおける活性酵素種の功罪
第31回	H25年 6月11日	火	1生化	濱中 良志	分泌タンパク質分解酵素
			産婦人科	川野由紀枝	子宮内膜症の病態解明と新規治療薬の開発
第32回	H25年10月 8日	火	皮膚科	酒井 貴史	Flaky-tailマウスでは角層pH調節の異常がアトピー性皮膚炎様皮膚炎の発症に関与している
			循環器内科	福井 暁	心臓圧負荷により惹起される炎症・線維化に対するHistamineの影響について

第33回	H26年 2月 4日	火	マトリックス医学	樋田真理子	転写因子NF- γ は軟骨細胞においてマウスX1型コラーゲン $\alpha 1$ 鎖院弟子の基本プロモーター活性を制御する b
			産婦人科	甲斐健太郎	子宮内膜症におけるアポトーシス受容体DR6の発現低下と病態形成への関与
第34回	H26年 6月18日	水	皮膚科	高橋 大輔 (医学科5年)	アトピー性皮膚炎の表皮内神経線維伸長に関する研究
			分子解剖	千葉 政一	カテコラミン刺激による血管内皮微小孔形態変化について
第35回	H26年12月 4日 教授新任講演	木	小児科	井原 健二	X Y染色体異数性と表現型
第36回	H27年 2月10日	火	マトリックス医学	田口 惇美	症状を呈する新規ファブリー病モデルマウスの作製と応用
			薬理学	木村 俊秀	インスリン分泌細胞におけるGDP型Gタンパク質とメンブレントラフィック
第37回	H27年 6月30日 教授新任講演	火	細胞生物学	花田 俊勝	新規RNAキナーゼ分子CLP1のtRNA代謝機構と疾患との関連
第38回	H27年 9月29日 兼 第10回臓器線維症研究会	火	全学研究推進機構	矢野 博之	放射線照射におけるコラーゲンの発現調節
			肝疾患センター	本田 浩一	ウイルス肝炎治療のパラダイムシフト
第39回	H28年 1月20日 教授新任講演	水	神経生理学	花田 礼子	生理活性ペプチド・Neuromedin Uシステムの新たな生理機能の解明と病態との関連
第40回	平成28年7月26日	火	分子解剖	千葉 政一	「好きな食べ物は別腹」の脳内機構
			薬理学	石崎 敏理	アクチン細胞骨格再編成を調節する細胞内シグナル分子の病態での役割
第41回	平成28年10月26日	水	微生物学	山田健太郎	狂犬病ウイルス感染のin vivoイメージングの試み
			細胞生物学	波田 一誠	線虫の初期胚発生における TCA 回路の役割
第42回	平成29年2月14日	火	産婦人科	竹林 兼利	子宮内膜症の病態形成におけるmiR-100の発現亢進の意義
			感染予防医学	飛弾野真也	トキソプラズマ脳炎におけるアストロサイトの感染防御機構の解明
第43回	平成29年6月27日	火	薬理学	石崎 敏理	科研費の改革とその対策
			皮膚科学	波多野 豊	我々が行ってきたアトピー性皮膚炎の病態研究
第44回	平成29年10月31日	火	皮膚科学	山本 悠矢 (医学科4年) 広瀬 晴奈	選択的Wnt/beta-catenin/CBP シグナル阻害剤であるICG-001 は、ハプテン誘導性アトピー性皮膚炎様皮膚炎を抑制する (研究室配属優秀発表)
			細胞生物学	田中 亮太 (医学科4年)	最新のゲノム編集による、サカナのヒト疾患モデル作製技術の確立 (研究室配属優秀発表)
			診断病理学	駄阿 勉	腺様嚢胞癌の分子病理